

永田や佛壇店（岡崎）

ギャラリーメモリア常滑オープン

永田や佛壇店（本社・岡崎市）が十二月四日にオープンさせた「ギャラリーメモリア常滑」はイオンモール常滑の中にある。

永田や佛壇店はすでに豊田市にギャラリーメモリアを出店しており、現代仏壇の販売ノウハウを蓄積してきたが、ショッピングモールへの出店は初めてのこと。

「住宅事情に合わせたスタイルリッチな現代仏壇をご覧頂くと共に、センテラ側のということもあり、帰省時に故郷の先祖様へのお供え物等のアイテムを取り揃え、ご来店のお客さまにお役に立てるお作りを目指しました」と永田浩三社長

は語る。店長の高須砂和子さんは永田や佛壇店西尾店では十年間仏壇仏具販売に携わってきた経験豊かな女性であるが、「イオンのインショップであることが初めてで、八木研さんの研修にも当初は途

西尾店ではお寺との関係の確認を必ずしていたが、八木研の研修では「宗派のことをまず確認しなくてもいい」と言われ、そのことに慣れなかつた。

実際の店頭でこれまでとは異なることが「ご本尊なしで位牌のみをお祀りされるお客様が多い」とや「宗派を抜きにして自分の気に入った仏具をお求めになるお客様が多いこと」だが、今では当たり前なこととして、

「最初は、本当にここで仏壇が売れるのかと少し不安でしたが、仏壇はもろろん売れますし、線香、ロソク、珠数もよく売

れます。空港が近いこともあり、海外のお客様の来店もあります。来店者が落ちないことが心強いですね」と岩切部長は言う。

さらに近隣の永田や佛壇店との販売連携も生まれているという。実は店内には「永田や佛壇店」の店名ロゴも表示されており、「ああ永田やさんなの、じゃあ安心ね」というお客様も多い。

従来の仏壇販売と異なることは「仏具などを含めた提案力を問われること」だ。仏壇選びに時間をかけ、さらに仏具にもこだわりを持つお客様が多い。

人気なのは鏡面仕上げの現代仏壇。金仏壇に目の慣れた商圏だけに、光沢のある仕上げがすんなりと受け容れられるということだろう。



昨年12月4日にオープンしたギャラリーメモリア常滑
店内には「永田や佛壇店」のサインもあり、地元のお客様の信頼を生み出している



ギャラリーメモリア常滑のスタッフ
岩切秀人部長（右）、高須砂和子店長（中）
濱嶋真寿美さん（左）



通路側には珠数を展示
取材中にも続々とお客様が珠数を手に取る



館内の巨大な吹き抜けから見える
ギャラリーメモリア常滑

お客は七割は新規で、買換のお客は三割だ。当初の予想と異なることは、お客様が広範囲に亘ること。これはイオンモールの集客力によるものだが、岐阜県、三重県からのお客様もあるという。

八木研との提携は以前からのことであるが、「全国統一価格であること」が信頼感を生み出している。たかさんの人に現代の仏壇のスタイルを見て頂く場として、ギャラリーメモリア常滑は機能して行くことになる。